

はじめに

本書を手にとつていただきありがとうございます。私は、豊田剛士と申します。

私は、一般社団法人神奈川県相続相談協会という法人の代表理事を務めており、相続のコンサルティングを行っています。年間100件以上の相続のご相談をお受けし、一般家庭から資産数十億円の資産家さんまで生前の相続対策や相続発生時の手続きを行います。また、ご相談や対策の実務だけではなく、相続の知識や対策についてセミナーを開催したり、金融機関で講演を行わせていただいたりしています。

一般社団法人神奈川県相続相談協会以外にも一般社団法人全国相続コンサルティングネットワーク、ベストプラン株式会社という法人を運営しており、一般社団法人全国相続コンサルティングネットワークでは、各所で相続の相談センターを開設し連携して、相続人と実家が離れている場合や相続人同士が離れている場合、ご相談者が遠方の場合でも対応できる仕組み作りをしています。

ベストプラン株式会社では、不動産のコンサルティング、賃貸経営管理、ファイナンシャルプラン

ニングを行っています。いずれの法人も商品やサービスを売るといふ営業ではなく、お客様の悩みや課題の解決、資産を守る、殖やすコンサルティングを行っています。

年間数多くのご相談をお受けさせていただきます。その相談は、これから相続対策を始める方、すでに相続対策を始めている方、相続が発生し手続きをする方、対策が必要な方などさまざまな状況のお客様がいらつしゃいます。また、セミナーにお越しいただくお客様には、相談する前に勉強をしてから相続対策に臨みたいという方もいらつしゃいます。

相続対策を進めるうえで必要な知識や対策は、遺産分割などの法務、相続税などの税務、資産形成の財務、相続の手続き、不動産の実務や最有効活用などの分析、金融商品や収益不動産の効率を見るファイナンス、生命保険の設計など、非常に多岐にわたります。また、それを取り扱う専門家も1つの業種ではなく、数多くの業種の力が必要です。そのため、相続対策の一つひとつがぶつ切りの対策になつてしまい、効果を発揮できていない、もしくは逆効果ということも少なくありません。相続対策を進めるには非常に多岐にわたる知識や対策をトータルで考える必要があります。そうしないと、とるべき順番を間違えてしまったばかりにできるはずの対策ができなくなつてしまつたり、特例が使え

なかったり、修正が必要になったりするなどの事態が発生することも少なくありません。相続対策の多くが断片的な財産の情報や事実の現在だけを切り取り、良いか悪いか判断するための物差しを用意しないまま進めている方が大多数です。

相続対策で重要なのは、過去から現在にかけての分析をしっかりと行い、その現在のままかどうかなのかというシミュレーションをして、そのシミュレーションから見える目標や課題、問題から、逆算して現在何をすればいいのかを考えて行動することです。対策の内容自体はあくまで手段でしかありません。このステップを踏み、対策一つひとつをぶつ切りに考えるのではなく、トータル的に考えることで、真に必要な対策を行え、被相続人の想いを叶える最良の結果をつかむことができます。

本書では、相続の基本や現状把握の方法とともに、対策の手段や対策の事例もお伝えいたします。相続対策を始めるときに、進めるべき手順を間違えて損をすることや、局部的には良さそうに見えるけれどもトータルで考えると良くないという事態を防ぐなど、被相続人の想いを叶えるきっかけにしたいだければ幸いです。